

さがしてみよう・見てみよう!

草原や明るい林、岩場など、変化に富んだ環境のあるこのコースでは、筑波山を形作る岩石や、様々な動植物を観察することができます。

1. 草原に咲く花 (つつじヶ丘~つつじヶ丘高原)

つつじヶ丘高原周辺の草原では、夏から秋にかけ十数種類の草花が見られます。



ツリガネニンジン (8-10月)



ワレモコウ (8-10月)



タムラソウ (9-10月)

2. ブナ林に咲く花 (弁慶茶屋跡~大仏岩付近)

弁慶七戻から上のブナ林では、人目を引く美しい花が見られます。



キクサイチゲ (4-5月)



ヤマブキソウ (5月)



ツクパトリカブト (9-10月)

3. 岩場に咲く花 (大仏岩~女体山山頂)

山頂付近のけわしい岩場には、特徴ある花を咲かせる植物が群生しています。



シモツケ (6-8月)



イワタバコ (7-9月)



ダイヤモンドソウ (8-9月)

4. アカトンボを見分ける (つつじヶ丘高原周辺・8-10月)

夏の筑波山はトンボ天国。肉食性のトンボが多いことは豊かな自然がある証しです。よく見られるアカトンボを見分けてみましょう。



ノシメトンボ (♂)
羽の先が茶色く、体は黒ずんだ赤。



ナツアカネ (♂)
ほぼ全身が真っ赤になる。



マイコアカネ (♂)
顔がきれいな水色になる。



アキアカネ (♂)
腹の上半分が赤く、節には黒い斑点。

5. アザミにやって来るチョウ (つつじヶ丘~弁慶茶屋跡)

開けた明るい場所に自生するアザミのなかまは、開花期間が5~10月と長く、いろいろな種類のチョウにとって大切な蜜源になっています。



ダイミョウセリ



ウラナミシジミ



キアゲハ



ジャノメチョウ



アサギマダラ



ツماغロヒョウモン (♂)

*筑波山では、貴重な植物や、昆虫たちの食べ物となる植物を保護するため、草刈りの時には、花や蕾のついた植物を刈り残す工夫をしています。

6. ハンレイ岩と奇岩怪石 (弁慶七戻~女体山山頂)

筑波山を形作っているおもな岩石は、地下深くでマグマがゆっくりと冷えて固まった「斑レイ岩」。直線的な割れ目・節理が発達しているのが特徴です。

節理のようすがよく分かる裏面大黒 →

節理で割れた岩の面は、まるで刃物で切ったように平ら (点線囲み部分)。↓



節理：岩石が冷えて固まる時の収縮や、地中で大きな圧力によってできる割れ目。



7. 木の実の色々 (コース全域)

森の木の実の色とりどり。何色見つけられるでしょう? 有毒のものもあるので要注意。



アオハダ



ゴンズイ



シキミ



ミズナラ



ムラサキシキブ



ヒサカキ

筑波山コース別ガイド 登山コースの自然案内

つつじヶ丘~女体山山頂